

相生山緑地 オアシスの森くらぶ ニュースレター22号 2004.9.11発行

発行 オアシスの森くらぶ
編集委員会
発行人 大 館 学
編集人 近 藤 真 史

6月定例活動「トンボ池周辺エコアップ作戦」

小池 敦夫

6月26日(土)は「トンボ池エコアップ作戦」と題して、トンボ池の草刈や水草の整理などを行い、トンボ池に迎える準備を行いました。また、天白土木事務所と事前に協議した上で、トンボ池の野辺の小径を挟んだ向かい側に投棄されたゴミ(がれきやガラクタなど)の回収作業も行いました。

当日の参加者はリコー中部さんから10名の参加を得て、くらぶ員15名そしてなんとCBCのスタッフ5名の30名でした。

集合時には雨が振り出しており、どうなることやと心配しましたが、作業を進めているうちに雨もあがり、昼からは青空も見えてほっとしました。

作業は、まずトンボ池班とゴミ回収班に分かれ、先に作業を終了したトン

ボ池班がゴミ回収班に合流して、手際よく作業が進みました。

ゴミの回収に伴い、周りの竹の伐採も行ったことで、見違えるほどきれいになり、今後ゴミの投棄がしにくい状態を作り出すこともできました。



▲テレビの取材を受けながら、ゴミ回収と竹林管理作業が着々と進められた。

ちなみに、回収されたゴミは、翌日に天白土木事務所の手配により、搬出

してもらえました。



▲回収されたゴミの山

ところで、CBCのスタッフの役割は7月22日(木)に放映されたCBCテレビ「そこ知り坂東リサーチ」の取材ということで、野並周辺を紹介する中で、我がオアシスの森くらぶの活動も大きく取り上げられました。

やはり、テレビの収録などというと、何かはりきってしまいますね。

みなさん、番組は見ましたか？

『天白・もりのフォーラム シンポジウム』が 開催されます！

今年是天白区政30周年ということで、区と天白・もりのフォーラムが協働して記念シンポジウムを開催します。皆さん、是非ご参加下さい！

【日 時】11月23日(火・祝) PM1:00受付開始
(終了予定 PM4:30)

【場 所】天白文化小劇場(地下鉄原駅ターミナルビル4F)

【主な内容】★ジョン・ギャスライト氏の基調講演
★区内で活動している自然団体等の紹介
★パネルディスカッションなど

シリーズ『森の住人たち』⑨

カネタタキ カネタタキ科

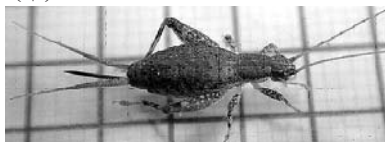
体長 1.0~1.8cm内外
環境 野山の中低木や庭木の梢で鳴く

～カネタタキ～ 秋の夜長の風情

(♂)



(♀)



「今、鳴いている鳥はなんですか」
観察会の参加者が問う。五感を働かせることを心がけているが、はてさて鳥の声は耳にしていない。聞きもらったかと、耳を澄ます。「ほら、この鳴き声」といいながら、参加者が梢を指差す。聞こえてくるのは、カネタタキの声。
「チン チン チン」「チュン チュン チュン」人によっては、鳥の鳴き声に聞こえるというから、間違えるのも無理はない。秋本番ともなると、日中から鳴く虫も多い。
カネタタキは、その名が示すように「チン チン チン」とまるで鉦をたたいているように聞こえるのでこの名がある。鉦はカネと読み、扁平な円筒形の仏具や楽器を示す。
ところで私たちは、夜のしじまに虫の音を

耳にすると、しみじみとした気持ちになる。この感情は私たち日本人が、虫の音を意味あるものとして左脳で聞くことによるものだという。欧米人の場合は右脳で聞くため、単なるノイズとしかとらえないようだ。この話を聞いたとき、思わずほっとした。日本人に生まれてよかった、と。
カネタタキは毎年、8月の中・下旬から鳴き始めるが、今年は数日早かった。猛暑と関係あるのだろうか。
これからの季節、秋の夜長にラジオやテレビのスイッチを消して、虫の音に耳を傾けてみよう。もちろん、外に出ればもっと楽しめること間違いなし！

(文責 自然案内人 近藤 記巳子)